

第1章 計画策定の経緯と目的

1. 計画策定の経緯・目的

特別史跡彦根城跡は、滋賀県彦根市金亀町ほかに所在する近世城郭跡である。天守がある彦根山（金亀山）を中心とした範囲が昭和26年（1951）6月9日付けで史跡指定、昭和31年（1956）7月19日付けで特別史跡に指定されている。昭和31年の特別史跡指定時の指定面積は488,627㎡であったが、その後、平成28年（2016）3月1日付けによる外堀土塁遺構（惣構堀）の追加指定を経て、令和2年度（2020）現在では489,932.79㎡となっている。

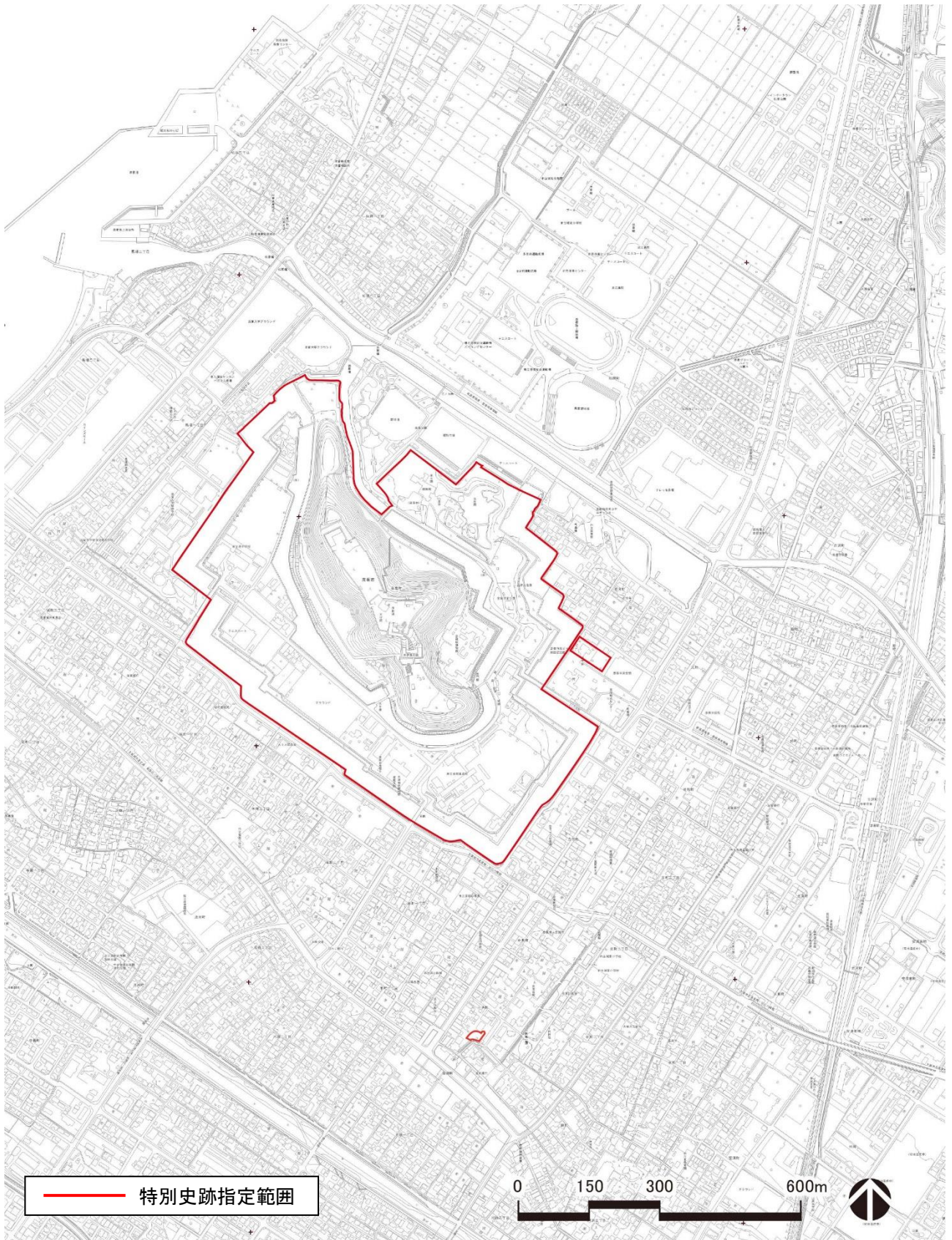
彦根市教育委員会では、特別史跡彦根城跡を将来にわたり保存・継承するため、昭和58年度（1983）には『特別史跡彦根城跡保存管理計画書』を策定した。その後、近年の来城者数の増加や、夢京橋キャスルロードの整備、特別史跡指定地内の公有化の推進、世界文化遺産暫定リストへの登録等の時節の変化に対応するため、平成27年度（2015）に彦根城跡が持つ本質的価値を将来にわたり保存し、その価値の顕在化を図りつつ、来城者の安全性や便益性を向上させることを目的とした整備活用の推進のため、『特別史跡彦根城跡保存活用計画書』を策定した。

本書は、『特別史跡彦根城跡保存活用計画書』で示される本質的価値と、その価値を活かした適切な保存管理や活用、整備についての基本方針に基づいて、特別史跡彦根城跡を保存して活用を図るための具体的な整備を計画的に実施するため「整備基本計画」を策定するものである。

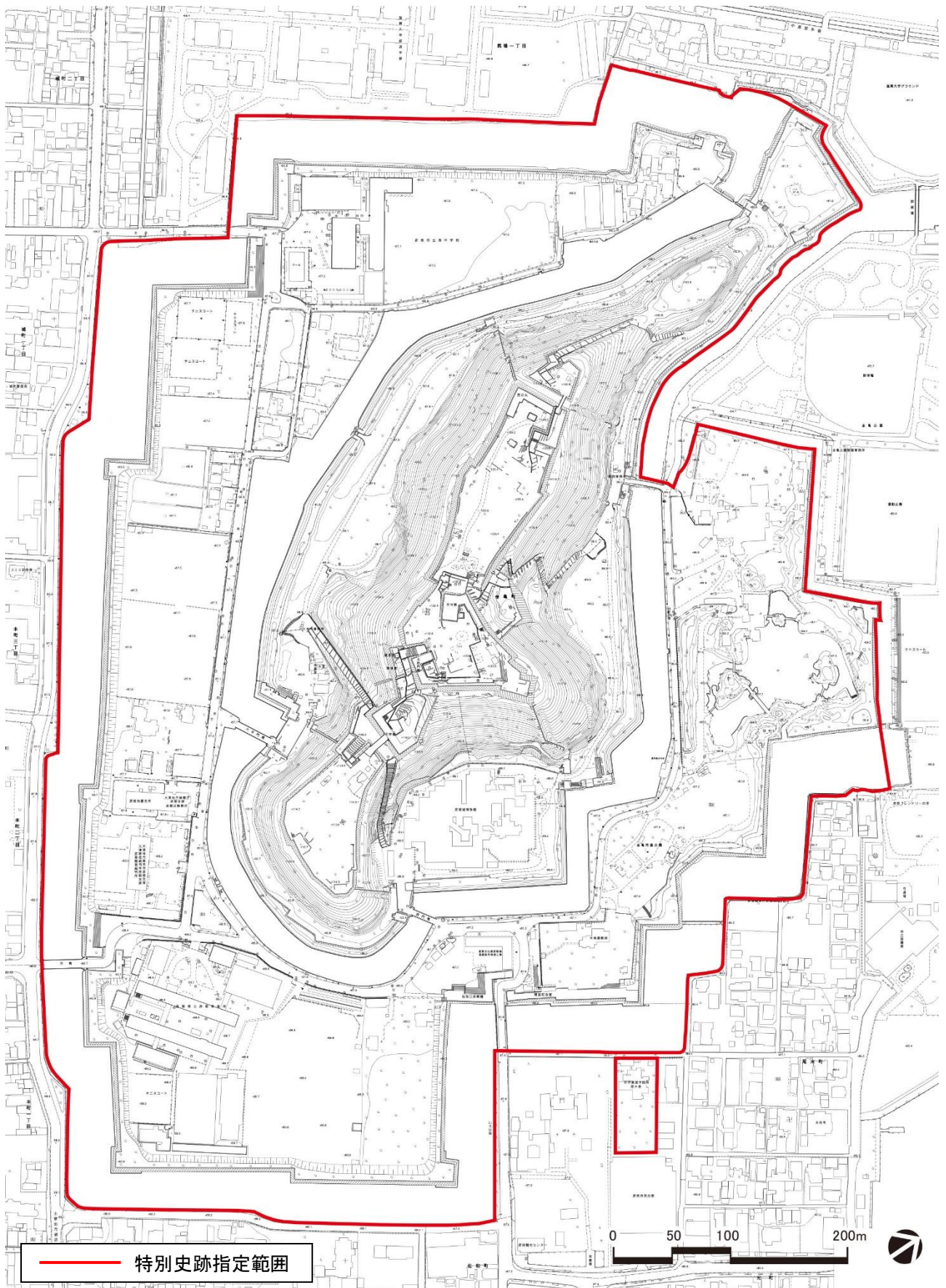
現在の特別史跡彦根城跡の指定地には、学校施設等の公共施設や民有地が立地することから、指定地内の維持管理は彦根市市長直轄組織文化財課が中心となり、彦根市の関係諸機関や民間との協働で実施している。また、指定地の周辺にも近世のまち並み、公園施設、夢京橋キャスルロード等の様々な施設が立地しており、近世城郭やその周辺が一体となった保存のための対応が必要になっている。これらを踏まえた上で、特別史跡彦根城跡を次世代へと確実に伝えていくための整備の方針を定め、必要な整備を計画的に実施することを目的として本計画を策定する。

2. 対象範囲

整備基本計画の対象とする範囲は、原則として特別史跡彦根城跡の指定範囲とする。ただし、特別史跡の保存に影響を及ぼす可能性が想定される範囲についても、適切な整備を検討する必要がある。また、彦根城跡が本来持っている歴史的価値を正しく認識するためには、指定範囲を超え、特別史跡彦根城跡の本質的価値と係る範囲で整備基本計画を検討することも重要である。



図：本計画の対象範囲（特別史跡彦根城跡指定範囲）



図：本計画の対象範囲（特別史跡彦根城跡指定範囲 中堀以内拡大図）

3. 委員会の設置

特別史跡彦根城跡整備基本計画の策定にあたっては有識者から意見を求めるため、「特別史跡彦根城跡保存活用計画・整備基本計画検討委員会」（以下、本文中は委員会と記す）を設置することとし、平成31年（2019）4月1日付けで「特別史跡彦根城跡保存活用計画・整備基本計画検討委員会設置要綱」を定め、6名の学識経験者に委員委嘱を実施した。また、文化庁文化財第二課／文化庁文化資源活用課の担当調査官及び滋賀県教育委員会事務局文化財保護課の担当職員にもオブザーバーとして出席いただいた（予定）。

委員会委員等の一覧と令和元年度（2019）の委員会の開催概要は以下の通りである（予定）。

表：特別史跡彦根城跡保存管理計画・整備基本計画検討委員会委員等一覧（敬称略、順不同）

役職	氏名	所属	専門分野
委員	金田章裕	京都府立京都学・歴彩館 館長 京都府立大学 法人理事長	歴史地理
委員	麓和善	名古屋工業大学大学院 教授	建築史
委員	小野正敏	人間文化研究機構 元理事	考古学
委員	小浦久子	神戸芸術工科大学 教授	都市計画・景観計画
委員	高瀬要一	奈良文化財研究所文化遺産部 元部長	造園・整備
委員	野間直彦	滋賀県立大学 准教授	環境生態学
委員	木川英樹	彦根商工会議所 副会頭	地域経済
委員	成田卓巳	彦根観光協会 事務局長	観光
オブザーバー	文化庁文化財第二課史跡整備部門文化財調査官		—
オブザーバー	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課参事		—

表：令和元年度（2019）特別史跡彦根城跡保存管理計画・整備基本計画検討委員会開催概要

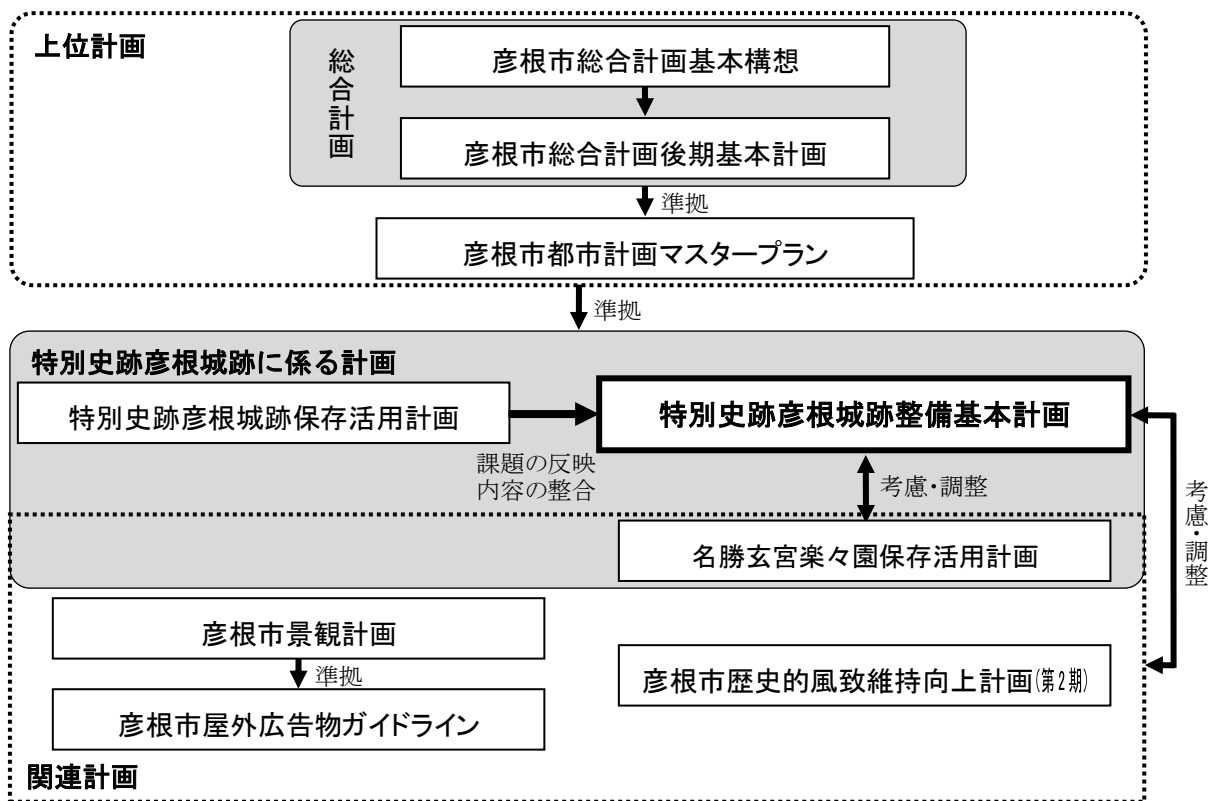
	第1回委員会	第2回委員会
日時	令和2年(2020)1月15日(水)15時30分～	令和2年(2019)3月22日(日)13時30分～
場所	彦根市民会館3階 第3会議室	彦根市民会館3階 第2会議室
議題	①特別史跡彦根城跡整備基本計画の策定について <ul style="list-style-type: none"> ・計画の構成(目次案) ・計画策定の経緯と目的 ・計画地とその周辺の現状 ・特別史跡彦根城跡の概要及び現状と課題 ②整備に関する課題について	①第1回委員会議題の修正(予定) ②整備の基本方針について(予定)

4. 関連計画との関係

本計画の関連計画としては、以下のものがあげられる。関連計画と本計画である「特別史跡彦根城跡整備基本計画」の位置付けは、以下の図に示すとおりである。

表：関連計画一覧

計画名称	策定・改正年	策定者等	計画期間
彦根市総合計画基本構想	平成 23 年(2011)	彦根市	～令和3年(2021)
彦根市総合計画後期基本計画	平成 28 年(2016)	彦根市	～令和3年(2021)
彦根市都市計画マスタープラン	平成 29 年(2017)	彦根市	～令和 12 年(2030)
特別史跡彦根城跡保存活用計画	平成 28 年(2016)	彦根市教育委員会	—
彦根市景観計画	平成 19 年(2007)	彦根市	—
彦根市屋外広告物ガイドライン	平成 31 年(2019)	彦根市	—
彦根市歴史的風致維持向上計画(第 2 期)	平成 30 年(2018)	彦根市	—
名勝玄宮楽々園保存活用計画	令和2年(2020)予定	彦根市	—



図：本計画の位置付け